資料7

4）北西域　揚水計画

4-3. 地盤沈下検討調査

H22.11.8

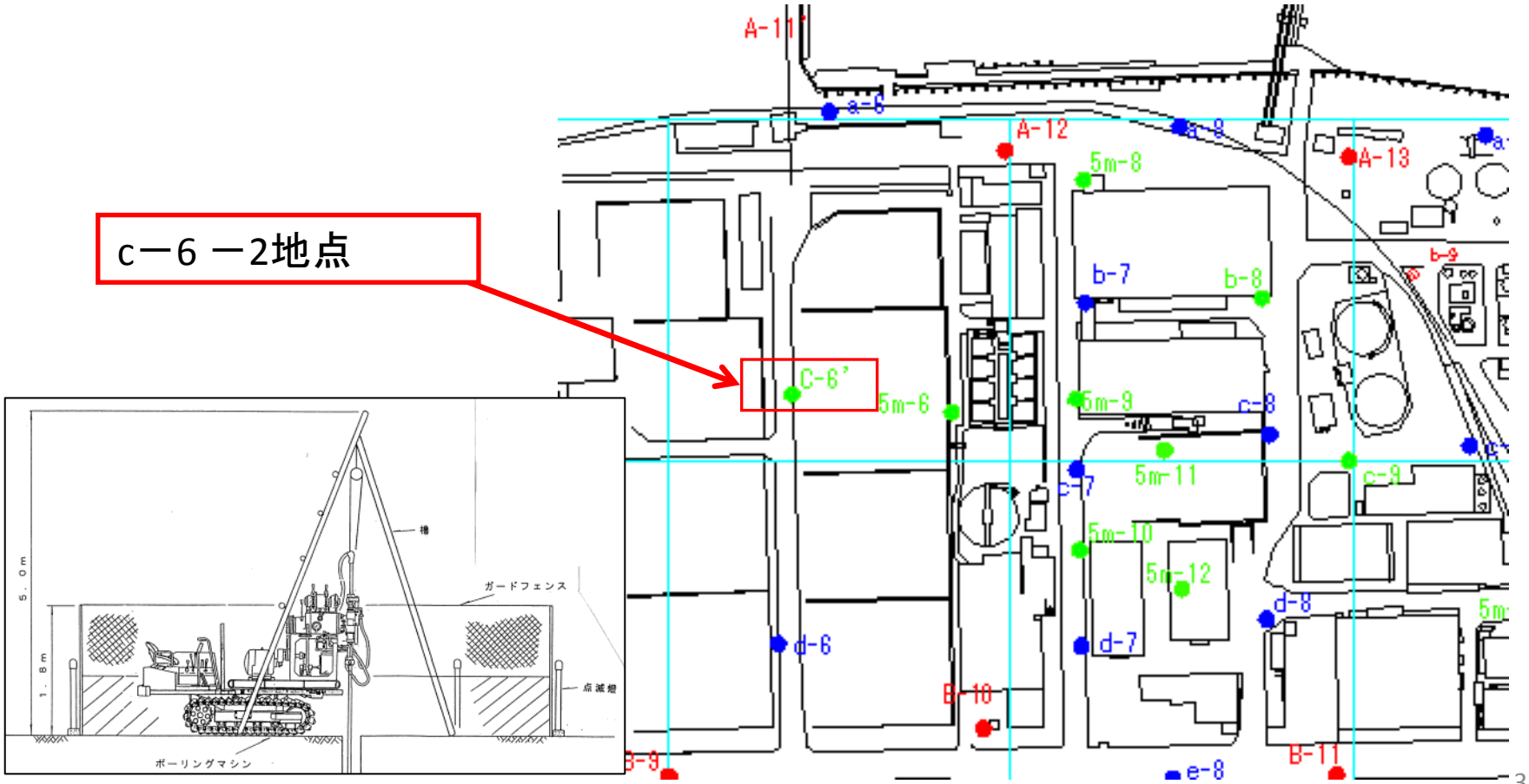
第13回　環境専門委員会

調査工程

⑴計画及び準備工　（計画書・段取り等）
⑵ボーリング工　（仮設・撤去）
⑶標準貫入試験
⑷不撹乱試料採取(シンウォールサンプリング)
⑸室内土質試験
⑹報告書作成

・ボーリング調査

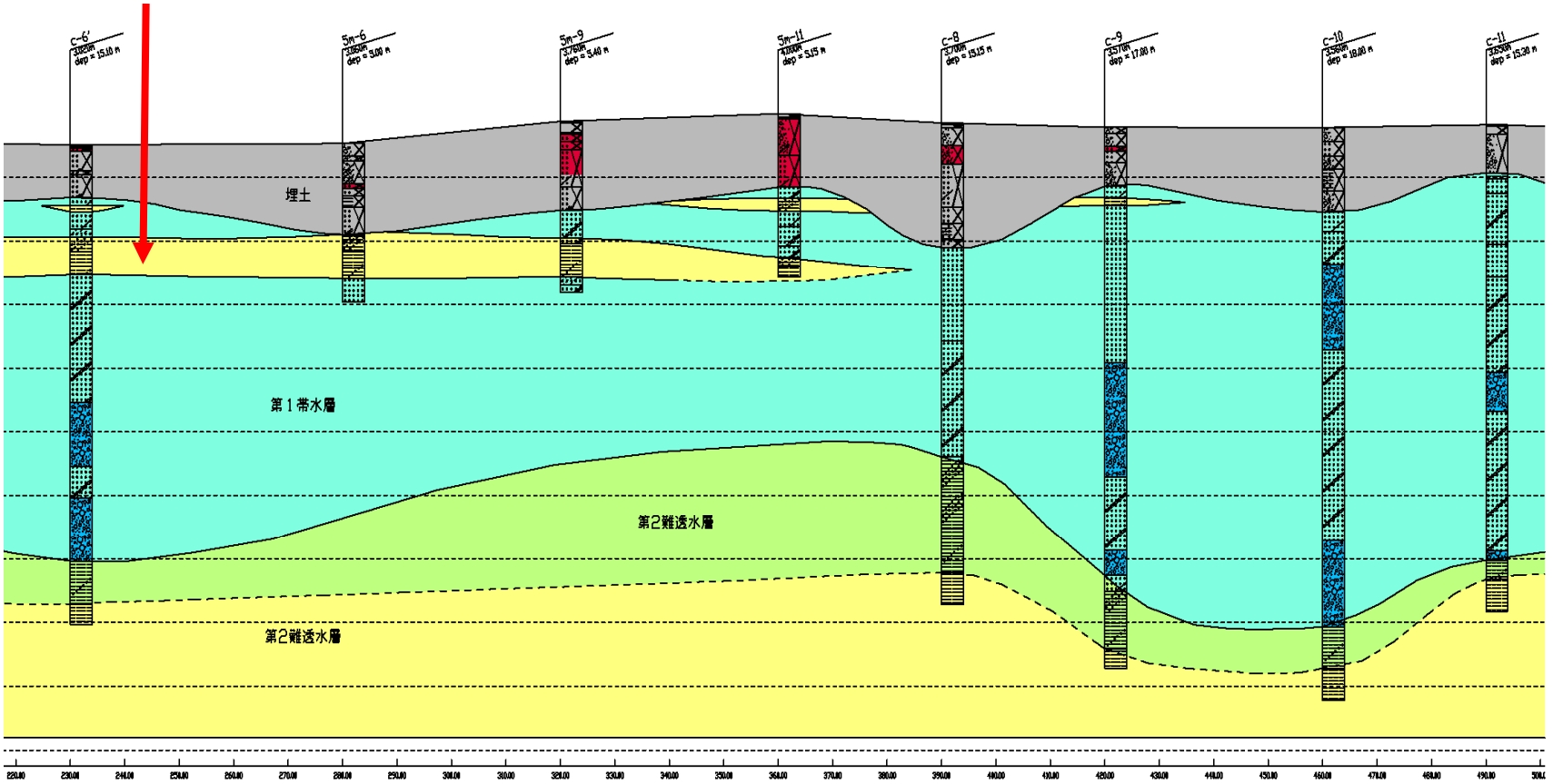
現地調査：平成22年9月30日～10月1日
調査地点：c-6-2地点　（既存c-6‘地点に隣接）
掘削深度：5.45m。



ボーリング調査　c-6-2地点

調査地点　地質概要

試料採取位置（c-6-2　地点）

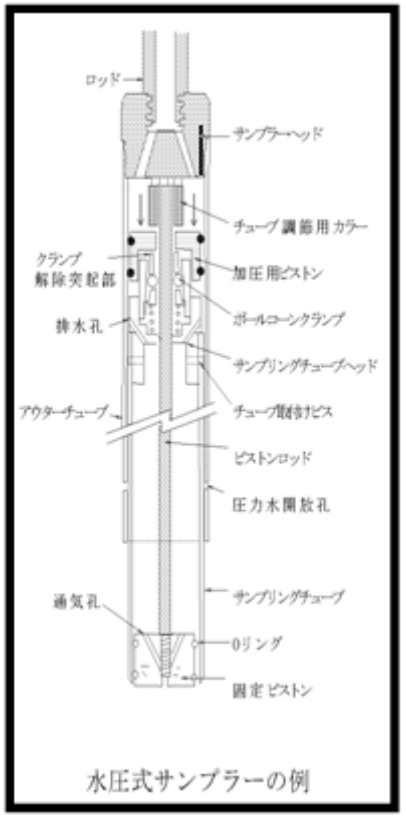


c-6-2 地質状況

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
		0.55	0.55		砂礫	暗灰色			表面10cmアスファルト～砕石砂礫層。 礫径はφ2～50mm程度の角礫主体。 マトリクス部分は粗砂。若干シルト混じる。 0.40～0.55m間褐灰色のシルト質砂礫挟む。
1		0.30	0.85						
		0.25	1.10						
2		1.10	2.10						
		0.70	2.80		コンクリート				0.55～0.85m間コンクリート挟む。
3		1.30	4.10		砂礫	暗灰色			含水大位。礫径はφ2～80mm程度の角礫主体。 礫の含有量、深度にムラがある。 0.90m付近までは礫、密集しており以深礫の混入量が少なくなる。
4									
		1.35	5.45		砂	黄灰色～淡灰色～暗色～黒灰色			含水中位。 全体に細砂主体。細粒分少量混じる。比較的均一な砂である。 GL-1.95～2.10m間にて暗灰色のシルト挟む。
5									
6									
7					シルト質砂	暗灰色～黒灰色			含水中位～やや大位。 微細砂から構成され、全体に細粒分混入するが、砂質土優勢。
8					砂質シルト	黒灰色			GL-2m後半より粘性土主体へ変化。 含水やや大位。軟質な砂質シルト。
9					砂	黒灰色～淡黄灰色			含水大位。 粒子不均一。粗砂主体。φ2mm程度の粗い砂。 粒子間に含水の多いシルト混入する。
10									

GL-2.8m～-4.1mまで
砂質シルトが分布

固定ピストン式シンウォールサンプリング（水圧式）による不攪乱試料採取。



水圧式サンプラーの例

土壌採取状況

調査名
地盤沈下検討調査(ボーリング)
地点
C-6-2
測点
内訳
サンプリング
採取試料
T-1
GL-3.0~3.84m
(水圧式サンプラー)
森本工産株式会社
No. C-6-2 GL-3.0~3.84m T-1

現在、室内土質試験を終了し、
継続して圧密沈下について計算・検討中